

# 総合実習

使用教科書 なし	単位数 2	学年・学級・学科・選択名等 2年(フードシステム科)
-------------	----------	-------------------------------

## 1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産に関する総合的な実習をととして専門的技術と知識を習得する。</li> <li>・調査・研究・実験などを自発的に取り組む態度や意欲を養う。</li> <li>・学校農業クラブ活動の三大目標である科学性・社会性・指導性を身につける。</li> </ul>
---------	---

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	第1段階 ・課題を設定する。	6	・問題を自発的に発見する。  ・目標を明確にし、課題を設定する。	○	○		○	取り組みの姿勢 記録簿
	5	第2段階 ・計画する。	8	・食品の企画、製造、研究等が計画的に実施できるように考える。 E課題を解決できる方法や手順を考える。	○	○		○	取り組みの姿勢 記録簿
	6	第3段階	8		○	○	○	○	取り組みの姿勢
	7	・実施する。	4	・計画どおりになるように具体的に実践する。					記録簿
	8		4	E観察記録等をつける。					
後期	9		8						
	10	第4段階 ・評価、反省する。	8	・計画、実施の結果について、適否を判断して評価、反省を行う。	○	○		○	取り組みの姿勢 記録簿
	11		8	・次の課題の設定へ発展させる。					
	12	第5段階	8		○	○		○	取り組みの姿勢
	1	・成果を発表する。	2	・活動成果を記録簿としてまとめる。					記録簿
	2		2	・活動成果をスライドにまとめ、発表を行う。					
	3		4						

## 3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能	④知識・理解
内容	プロジェクト学習に関心を持ち、農業生産・食料や環境、文化・生活の改善を目指して主体的に取り組んでいる。	農業生産・食料や環境、文化・生活に関する課題の解決を目指して、適切に判断し、自分の考えを表現できる能力を身に付けている。	各専攻班で必要とされる基礎的・基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できる。	各専攻班で必要とされる基礎的・基本的な知識を身に付け、プロジェクト学習の意義や役割を理解している。
割合	20% (点)	10% (点)	30% (点)	40% (点)

#### 4 履修にあたっての注意事項

- (1) 専攻班活動は、2、3学年の2年間継続の授業となります。
- (2) 座学と実習を平行して行います。
- (3) 実習に際しては、学校指定の実習服・帽子・長靴を正しく着用して臨むこと。
- (4) 実習は危険を伴う作業をすることもあるため、指示を良く聞き指示に従い、まじめに取り組むこと。
- (5) 座学に際しては、ファイル等を忘れずに準備すること。

以上の点を守れない場合には未履修になる可能性があるため、注意すること。

#### 評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

#### 学年末評定について

評定	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0

#### 5 その他の評価基準の補足について

- (1) 農業クラブ各種大会における評価 20% . . . . . a
  - ア 意見発表大会 6%
  - イ 技術競技大会 6%
  - ウ 実績発表大会 8%
  
- (2) 授業・提出物による評価 70% . . . . . b
  - ア 授業中の意欲・態度・興味・関心
  - イ 座学でのファイルや実習での作業着等の授業に対する準備・心構え
  - ウ 実習へ積極的に取り組む姿勢
  - エ ノート・記録簿の提出状況
  - オ ノート・記録簿の内容
  
- (3) 農業学習に関する行事の評価 10% . . . . . c
  - ア 2年生総合実習においては夏季実習を全体の10%評価する
  
- (4) 総合評価
 

評価点： a + b + c = 100満点